

応用プログラミング実験 ガイダンス資料

1 実験の目的

応用プログラミング実験では、情報システムの基礎的な実験を講義との適切なリンクに基づいて行い、システムの設計・実装・評価に関する知識の獲得を目指す。さらに実験内容を適切に把握する能力、実験結果に対する論理的思考力、レポート作成力等を身につけ、代表的なプログラミング環境の使用法を理解する。

上述の目的は、実験の手順を把握し、測定し、考え、最終的に自分自身で結論を導出することでしか達成されない。このような姿勢で実験に臨むことが必要である。

2 実験テーマと進め方

本実験は 4 つのテーマを各 3 回に分けて、順番に実施する。テーマと担当教員は以下の通りである。

- | | |
|--------------|----|
| ・マルチメディア情報検索 | 藤田 |
| ・確率プログラミング | 中嶋 |
| ・デジタル信号処理 | 白木 |
| ・人間情報学 | 福地 |

各回の冒頭 13:00 に出席を確認し、その後実験を開始する。16:10 に実験を終了し、レポート提出は各テーマの担当教員の指示に従って提出すること。各回について十分な準備をした上で、決められた時間内ですべての実験課題が終わるように留意する。ただし、実験中におきたトラブルや納得のいかない点については、素通りせずに調べることで上記の目的が達成できる。実験の進行は次の 3 段階である。

1. あらかじめ配布された各テーマの指導書をよく読む。
2. 実験内容を理解してから作業を行う。(注意事項が書かれている場合は事前に十分確認してから実験を始めること)
3. レポートを書く際は記載に必要な情報が何かをよく吟味し、レポート作成に必要な情報がすでに実験によって得られているかを確認する。

3 指導書

指導書およびレポート様式は、kibaco に掲示する。各自であらかじめよく読んだ上で、実験日に持参すること。なお、学内での印刷は南大沢キャンパス 1 号館 3 階の情報基礎教室(1 日に印刷可能な枚数の制限があるので注意すること)や日野キャンパス 4 号館 405 情報科学実験室または 2 号館 5 階 CAL 室などで可能である。タブレットやノート PC で指導書を見ることは許可するが、実験室で無線 LAN が入らなくても閲覧可能な状況にしておくこと。スマートフォン等の携帯端末での閲覧は許可しない。指導書を拡大しないと見られない程度のタブレットも不許可とする。

4 実験日, テーマ, レポート提出期限

実験日とテーマ, レポート提出期限は以下の通りである.

実験日	テーマ	レポート提出期限
4/11	ガイダンス, テクニカルライティング	4/18 12:00
4/18	テクニカルライティング, MATLAB 入門	4/25 12:00
4/25	マルチメディア情報検索	5/2 12:00
5/2	マルチメディア情報検索	5/9 12:00
5/9	マルチメディア情報検索	5/16 12:00
5/16	確率プログラミング	5/23 12:00
5/23	確率プログラミング	5/30 12:00
5/30	確率プログラミング	6/6 12:00
6/6	ディジタル信号処理	6/13 12:00
6/13	ディジタル信号処理	6/20 12:00
6/20	ディジタル信号処理	6/27 12:00
6/27	人間情報学	7/4 12:00
7/4	人間情報学	7/11 12:00
7/11	人間情報学	7/18 12:00

本実験ではテーマ毎に用意されているレポート様式に実験結果, 考察, 課題の回答などを記入し, 提出期限内に kibaco から提出する. 提出期限以降の提出は受け付けないので, 期限内に全ての課題を完了させる. 期限内の提出が困難であると予想される場合, 速やかに実験担当教員へ連絡し, 指示を仰ぐこと.

5 遅刻, 欠席, 課題未提出の取り扱い, および成績評価

遅刻, 欠席, 課題未提出の扱いは次の通りである. 単位取得の必要条件は

$$0.5x + y < 2.5, \text{かつ } z = 0$$

とする. ただし, x は遅刻回数, y は欠席回数, z は課題未提出の回数である. x, y, z のいずれも理由を問わないこととする. すなわち, 遅刻・欠席・課題未提出の理由を証明するものは提出不要である. 遅刻した場合, 必ず担当教員に申し出ること.

また, 本実験の成績は, 提出レポートおよび実験への取り組み態度から総合的に評価する.

6 履修上の注意事項

1. 本実験は必修科目であり, 単位が得られない場合, 3 年次の情報科学ゼミナールの履修ができなくなる. また, 3 年次修了判定にも影響がある.
2. 授業の形式は基本的に対面で行う. 基礎疾患があるなどの事情がある場合は, 授業担当教員に事前に相談すること.
3. 実験の各テーマは, 情報数学, 機械学習, パターン認識, 信号処理, 画像信号処理, 音響音声信号処理, ソフトウェア構成論, バーチャルリアリティ, 等の講義と関連している. 各講義を受講または内容を理解していることが望ましい.

7 連絡先

以下は教員の連絡先である([at]を@に変更). 連絡の際は必ず名乗ること.

教務担当: 松田 崇弘 教授 1 号館 208 室 (takahiro.m [at] tmu.ac.jp)

幹事: 下川原 英理 准教授 1 号館 223 室 (eri [at] tmu.ac.jp)

[実験担当教員]

白木 詩乃 助教 2 号館 215 室 (shiraki [at] tmu.ac.jp)

中嶋 一貴 助教 4 号館 205 室 (nakajima [at] tmu.ac.jp)

藤田 八郎 助教 5 号館 205b 室 (hfujita [at] tmu.ac.jp)

福地 庸介 助教 2 号館 506 室 (fukuchi [at] tmu.ac.jp)

実験室 4-405

実験室の連絡先: 042-585-8600 + (自動音声 flowed ら) 40 + (プーとなつたら) 6455